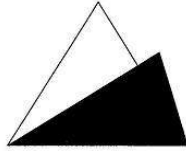


労山

おかやま



Okayama Workers'  
Alpine Federation

2022年7月号 第491号

7月1日

発行 岡山県勤労者山岳連盟

HP <http://okayamakenren.web.fc2.com/>

編集：岡山県連盟機関紙委員会  
(谷川治 吉房一子 蓮岡昇)



利尻岳(標高 1721m、8合目付近から 2022年6月撮影)

1P 表紙、目次

2-4P 県連第52回総会報告

4P 県連役員一覧

5-6P 新役員挨拶

岡本毅 黒田正明 野崎武志 蓮岡昇

7P 講習「山の装備と安全登山」案内

8P 山に登ろう SCMC 吉房順治

9P 理事会報告(第12回)

10P 行事予定・編集後記

# 岡山県勤労者山岳連盟第 52 回定期総会報告

事務局長 加治郷子

2022 年度の県連総会が、5 月 22 日(日)に岡山県国際交流センター8 階イベントホールにおいて開催されました。

昨年度、一昨年度は新型コロナウイルス感染症拡大のため、書面決議となりましたので、3 年ぶりの対面による総会です。会場を今までより広い場所に変更し、受付での検温、消毒等、感染防止対策をしっかりとった上での集会でした。以下に総会の概要を報告します。

始めに原田武夫会長から、「ようやく山に行くことが可能になってきた。我々山岳会は山についてこそ価値がある。感染にはしっかり対策しながら山に行きたい。3 年ぶりの人が集まったの総会となった。闊達な審議を通して風通しのよい県連にしていきたい。」との挨拶があった。引き続き、全国連盟第 35 回栄誉功労章受賞者への表彰式が行なわれ、今回は、永年会員 32 名を含む 34 名が表彰を受けた。



議長に井元清議員 (SCMC) と森下康弘代議員 (NHC) を、書記に谷口理事 (THD)、西岡理事 (PFC) を選出し、議事に入った。

資格審査では、全代議員 42 名中出席 39 名、委任状 2 名であり、総会が有効に成立していることが報告された。

第 1 号議案の 2021 年度活動報告、決算報告および会計監査報告がされ、質疑の中で高齢化のことが取り上げられた。労山の会員は全国的に高齢化が進んでいる、新しい会員を増やしていくことも必要だが、県連としては、高齢者が安全に登山できるようサポートするのが役割であるのとらえているとの回答があった。また、会計については書面決議となった昨年度総会の経費等についての質問もあった。採決の結果、賛成多数で第 1 号議案は承認された。

第 3 号議案の規約改定 (県連連盟費について) は、予算に関する内容のため第 2 号議案に先立ち採決され、賛成多数により可決。

第 2 号議案の 2022 年度活動方針および予算書(案)の報告がなされ、県連機関紙のペーパーレス化について、県連保有備品について必要でないもの見直しについて、備品のヒトココの活用についてなど活発な質問がされた。採決の結果、賛成多数で第 2 号議案は承認された。

昼食後、第 4 号議案の役員改選は事務局一任となり、加治事務局長から案の説明の後、第 4 号議案は賛成多数で承認された。その後、新任、退任および留任の役員から挨拶があった。

その後、各会からの 2021 年度活動報告と 2022 年度活動方針の報告の後、全国連盟理事長川嶋高志氏より、「安全登山のために」～事故事例と UIAA ハンドブックの利用法から～の講演が行われた。(次ページに続く)

## 総会報告 その2

### 全国連盟理事長川嶋高志氏講演「安全登山のために」

～事件事例と UIAA ハンドブックの利用法から～

講師川嶋高志氏は1960年東京都生まれで、2000年2月より全国連盟事務局長となり、その年の8月にK2（カラコルム山脈最高峰8,611m）に登頂、帰国後は労山専従職員として労山内の事故を全て受付けてこられました。そして今年度より、全国連盟理事長に就任されました。

講演では、準備していただいた資料に沿って、2021年度の労山会員の事故についての概況報告をしていただきました。

資料によると、事故件数は2019年330件、2020年239件、2021年269件です。2020年は新型コロナウイルス感染症拡大による緊急事態宣言発令や、蔓延防止措置等で、山行活動にも規制がかけられた影響で、事故者数は大きく減少していますが、2021年はまた少し増えて来ています。この2年で1000以上の会員減少がありましたので、269件は決して少ない数ではありません。事故者の年齢・性別で分類すると、男性は60代が、女性は60代から75才までが1番多くなっています。他には、40～50代男性、50代の女性の事故が多いのも気になります。

年代別・男女別別事故者の状況

年代	男	女	小計
20～24	1	1	2
25～29	2	1	3
30～34	5	1	6
35～39	7	2	9
40～44	4	7	11
45～49	10	4	14
50～54	12	19	31
55～59	13	13	26
60～64	26	26	52
65～69	27	26	53
70～74	19	28	47
75以上	7	8	15
合計	133	136	269



その他、時間帯別事故者の状況では、14時頃が最も多く、形態別事故者では無雪期登山、原因別事故では、転倒が45%と最も多く、次が転・滑落29%でした。月間別では、7月、8月の夏山登山シーズンが最も多く、県別ではやはり会員数の多い県が多いようです。

また、死亡者数では、岡山県連はこの10年の間に5名の死亡者が出ています。私たちはこのことを教訓に、事故のない山行を心がけること、そして、新しい会員にも伝え続けて行かなくては行けないと改めて実感しました。

2021年度の岡山県連の事故は、全国連盟に5件が報告されていきました。このうち県連に報告があったのは3件のみでした。事故報告は、労山基金を受けるためにあるものではありません。事故の原因を追及すること、そして次に同じような事故を起こさないためにも、連盟の会員同士が共有することは必要です。まずは県連に事故一報の提出をお願いします。

最後に、UIAA（国際山岳連盟）が登山の世界スタンダードとして発行している技術書『総合登山技術ハンドブック 夏季アルパイン』について利用法を話していただきました。

発行元は「日本山岳・スポーツライミング協会」ですが、日本勤労者山岳連盟も全面的に協力し、翻訳者は労山国際部長・大和田英子理事です。日本勤労者山岳連盟60周年記念出版として会員に紹介されました。

ハンドブックは、全国連盟にも在庫が少なくなってきました。岡山県連に10冊預かっていますので、欲しい方は各会理事を通じて県連にお申し込み下さい。



\*\*\*\*\*

## 2022 年度岡山県勤労者山岳連盟役員

役 職	氏 名	所 属
会 長 遭難対策委員長	原田 武夫	倉敷勤労者山岳会
副会長 ハイキング副委員長	小林 卓郎	山陽カルチャーマウンテンクラブ
理事長 事務局長 海外・教育委員長 遭難対策副委員長	加治 郷子	クラブ MONTATA
副理事長 女性委員長 機関紙副委員長	吉房 一子	山陽カルチャーマウンテンクラブ
事務局次長	野崎 武志	玉野ハイキング同好会
会計部長 海外・教育副委員長	久世 浩	岡山勤労者山岳会
組織委員長 女性副委員長	植田 恵子	倉敷ハイキング倶楽部
機関紙委員長	谷川 治	倉敷ハイキング倶楽部
海外・教育副委員長	岡本 毅	みまさか山の会
ハイキング委員長 機関紙副委員長	蓮岡 昇	倉敷ハイキング倶楽部
自然保護委員長	西岡 悠樹	ピーク・フレンズ・クラブ
自然保護副委員長	黒田 正明	新見ハイキングクラブ
会 計 監 査	田鍋 可勝	新見ハイキングクラブ
会 計 監 査	原田 英一	倉敷ハイキング倶楽部

## 理事就任ご挨拶

みまさか山の会 岡本 毅

この度、理事就任となりました『みまさか山の会』の岡本毅と申します。簡単に私が登山を始めるきっかけは、40歳を過ぎた頃体力の衰えを感じて一人でもできる運動をと考えた時に、職場の仲間と登った那岐登山を思い出し一人で勝北町の広戸仙に登りました。ナップサックにジーンズ・スニーカーのいでたちでしたが、当然ペース配分もわからずやみくもに登りはじめ、登山道も知らずに膝までの雑草の中を適当に見当を付け、直登をはじめました。途中でうまいこと登山道に出て登りましたが、当然へばって途中で何度も休み、後から来た人には抜かれるという散々な山登りでしたがなぜか登山に惹かれ単独であちらこちらと登り始めました。そして2~3年後には『みまさか山の会』と出会い、そこから今日にいたります。おかげさまで岩登り、沢登り、雪山と一人では全く体験できなかったであろうことを経験することもできました。

このことは山岳会に入会して、諸先輩方にご指導いただいたことによるものと感謝しております。山岳会に入会して20年以上になりますが、いまだに県連のことについては何も知らず、全く白紙の状態です。皆様の導きと手助けを頂きながら少しでもお役に立てるように微力ながら尽力していく所存です。どうぞ何事についてもご指導頂きますようよろしくお願いいたします。

## 新任理事の挨拶と抱負

新見ハイキングクラブ 黒田正明

初めて県連理事に推挙され、自然保護委員会の副委員長に任命されました。前任で永年務められた同じクラブの田鍋委員長より、自然保護委員会の活動について幾度か聞く機会があり有難く思っています。私は新見ハイキングクラブに入会して15年経過しました。毎月の例会山行（日帰り）や、泊付のレベルアップ山行にも毎年1~2回参加しています。昨年は八ヶ岳に、先日は御在所岳の山行を楽しみました。数年前よりNHC会長を務めていますが、安全登山を最優先に据えながら会員相互の親睦が図れる楽しい山行に取りくんでいます。さて今年度の自然保護委員会活動は、

### ① クリーンハイクの継続実施

ゴミなどの収集と登山道の整備も併せて行いたい。

### ② 全国自然保護担当者会議への参加により、全国の活動状況の把握と各地方連盟との情報交換を図る。

この2つの事業をメインとして、新任の西岡委員長の下で一から取り組んでいきたいと思っております。

山を愛する私達には、この美しい自然と山域を後世のためにも守っていく使命があります。微力ながら充実した県連運営に努力したいと考えます。

皆様のご指導、ご協力を宜しく申し上げます。

皆様のご

## 理事就任のあいさつ

玉野ハイキング同好会 野崎 武志

今年度理事を務めさせて頂くことになりました。THDの野崎です。  
学生の頃、山登りのサークルに入りまして、夏休みは北アルプスへ、秋の休みには南アルプス。春休みは九州の山に登りましたが、社会人となり時間がなくなり山はすっかりご無沙汰していましたが、玉野市にも山登りの会がある事を知りTHDに参加させて頂きました。  
岡山県の山もほとんど登ったこともなく、大変、新鮮に思えました。  
燕岳に登った時は、ああしんどいなあ。若い頃とはやはり違うなあと実感しました。  
また、山の会に入り山登りの基本的な事や救急処置の方法などを教わり勉強になりました。  
これからは安全第一に無理をせず、登れる山に登っていこうと思っています。  
これからもご指導、ご鞭撻をよろしくお願い致します。

## 新理事就任あいさつ

倉敷ハイキング倶楽部 蓮岡 昇

2022年度の理事に選任されましたKHCの蓮岡です。まだ登山経験も浅く、県連の事も全く分からない新人ですが、諸先輩のご指導の下、皆様のお役に立てるよう、つとめさせていただきますので、よろしくお願い致します。

4年前に退職後の「体力維持・向上」と「趣味を増やす」を目的として、ハイキングスクールを卒業・入会しました。今では一番の趣味となり里山を中心に、散歩は竜王山(倉敷市児島・209m)へを合言葉に、日々頑張っている状況です。

山では、四季の美しさ、里山の探検・冒険、名峰・奇岩の素晴らしさ等、大自然からの贈り物を楽しんでいます。

KHCに入会し、毎月の機関紙発行に取り組んできました。また、数々の山行に参加し多くの新しい友もできました。更にこれからは県連活動を通じて、他の会の皆様とお話させていただく機会も増え、多くの友が増えることを期待しています。

機関紙編集で山の名称・漢字を間違ったりしている状況で、諸先輩の方々から比してご心配をおかけする登山の初心者ですが、自分のできることで少しでも皆様のお力になればと考えています。

皆様方のご要望に添えますよう、これからも努力する所存でございます。何とぞ、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

2022 年度 県連安全登山講習

～ 正確な情報で登山技術のレベルアップを ～

元・文科省登山研修所講師・UIAGM 認定国際山岳ガイド

## 近藤邦彦氏による講習会のお知らせ

### 安全登山講習 ① 「山の装備と安全登山」

【日 時】2022 年 7 月 9 日(土) 13:30～16:30

【会 場】岡山生涯学習センター 視聴覚室

岡山市北区伊島町 3 丁目 1-1

※駐車場に限りがありますので、公共の交通機関を利用するか、乗り合せていらして下さい。

【受講料】無料 資料代は当日集金します

【定 員】50 名 先着順 ※各会理事を通じてお申し込み下さい。

【申込締切】2022 年 7 月 2 日(土)



コロナ禍におきまして、感染防止のための対策をとって行ないたいと思います。  
マスクの着用をお願いいたします。 検温器・消毒液等の準備は県連でいたします。

■実施内容の問い合わせ先: conih0307@orion.ocn.ne.jp (加治)

<今後の予定> ※詳細は県連機関紙「労山おかやま」でお知らせいたします。

### 安全登山講習 ②

#### 登山に役立つ岩登り ～初歩のクライミング技術と岩場の通過技術～

アルプスを縦走される方、沢登りをされる方、登山の基本はクライミング(登ること)にあります。より安全な登山ができるよう、この機会に 3 点指示の基本をしっかりと身につけましょう。繰返し行なうことが大事ですので、昨年受けられた方も是非受講して下さい。

【日 程】2022 年 11 月 19 日(土) 【場 所】和気の岩場

【内 容】・岩場通過を安全に行なうための基礎の技術講習  
・簡単な場所で三点支持クライミングの練習をした後、岩場の通過技術の講習  
・昨年受けられた方は、繰返し受けられることをお勧めいたします。

### 安全登山講習 ③

#### クライミングをされている方対象のロープワーク講習会

【日 程】2022 年 11 月 20 日(日) 【場 所】和気の岩場

#### ■その他の予定

「観天望気と山の気象講座」(山岳気象予報士猪熊隆之氏)2023 年 4 月 15(土)・16(日)

「登山の理念とリーダー論(仮称)」(愛知県連登山学校講師 洞井孝雄氏)

※詳細が決まりましたら「労山おかやま」でお知らせいたします。

## 山に登ろう

山陽カルチャーマウンテンクラブ 吉房順治

古い時代のことですが、山には「山姥」や「山爺」・「鬼」や「天狗」がいて…里に下りてきては、里の人をさらったり米や牛を取っていったりの悪さをしていたとか。その為、里の者が山に入るときは「山の神様」にお供えをして（山に入る儀式をして）から入山したそうです。

さて、「山の神様」は男性か？女性か？ということになりますが、（どうも）お父さんたちが「うちの山の神が…」と言っているところを見ると、女性のように…（だから）山に女性が入ってくるのを嫌っていたとも。

一説によると、山の神は『自分に夫がいないのは、（自分が）醜いからだ。』と思っていたようですが、本当は美人で…偶々手元に鏡がなかったので、自分の顔を見ることができなかつただけのことだと思います。

でも、子供は大好きで、「源義経」や「坂田の金時」を立派な武将に育てたり、捨てられた子を大事に育てて里に返しています。

そして、近年は「SNS」や「インターネット」を自由に駆使しているらしく、（併せて）自分の美貌に自信を持たれて…「山ガール」たちを喜んで受け入れてくれています。

今、丁度【山笑う季節】です…山の神様の笑顔が一番美しい季節です。山ガール（美女）たちも山ボーイ（イケメン）たちも、コロナ禍の閉塞感を振り切って、明るい陽の下で登山を楽しみませんか？

空（天）を見て、星を見て、風を感じて、水を味わって、生きていること（本当の幸せ）を満喫しましょう。



長崎県 嵯峨島 （2022年5月撮影）

“山笑ふ 村のどこかで 子が生まれ <尾形不二子>”

※そうそう、「富士（不二）山」の神さまの名は、『コノハナサクヤヒメ』です。

…皆さんご存じでしょう。

“山笑ふ 山彦さへも 弾みけり <順>”



# 2021 年度第 12 回理事会報告

2022 年 6 月 8 日作成

日 時：2022 年 5 月 18 日（水）19：00～21：00

場 所：ゆうあいセンター 会議室

出席者：15 名 欠席者：2 名 全：17 名

## 1、報告

### (1) 会計報告（久世会計部長）（各理事に送付済）

- 4 月 5 日 会計監査実施  
未収金 70,100 根拠 全国連盟円問合せ中。
- 連盟費の請求は、予算決定後。

### (2) その他

- 全国組織部会 5 月 12 日開催。

## 2、議題

### (1) 50 周年記念誌について（谷川機関紙委員長）

- 5 月 19 日 1,000 冊発刊。部数の少ない会  
は総会で配布、みまさか山の会は郵送。  
SCMC と THD は 20 日受渡。

### (2) 県連総会の準備（加治）

- 1、議案書完成  
➢各会持ち帰って代議員に連絡。
- 2、各会の代議員選出報告及び役割 代議員名簿  
配布。  
議長（SCMC 井元 清・NHC 森下康弘）  
書記（PFC 西岡悠樹・THD 谷口幸寛）  
受付（KHC 植田恵子・SCMC 吉房一子）
- 3、県連理事の交替及び任務分担  
別紙案にて協議。
- 4、全国連盟川嶋理事長の講演テーマ  
「安全登山のために」～事故事例と UIAA  
ハンドブックの利用法から～  
プロジェクター予約済。
- 5、理事の集合時間 他  
➢ 9 時集合

### (3) 自然保護委員会（田鍋自然保護委員長）

#### 県連クリーンハイク

岡労（時期、場所未定）KHC・倉労（6/5 福  
山）みまさか（6/26 蒜山）THD（6/26 王  
子ヶ岳）PFC（6/11 三平山）SCMC（6/4 熊  
山）NHC（6/5 天銀山）MONTATA（時期、  
場所未定）

### (4) 教育委員会（加治）

#### 安全登山講習

- ①山の装備講習 講師：近藤邦彦氏
  - ②登山に役立つ岩登り 講師：近藤邦彦氏
- 日程、講習内容等について希望があれば連  
絡を。

### (5) ハイキング委員会（盛重ハイキング委員長）

#### 県連交流ハイキング

- 50 周年記念ハイキング実行委員のメンバー  
でハイキング委員会立ち上げ、5 月 28 日  
交流ハイク実施。

### (6) 全国・中地協関係行事予定（加治）

- 1、全国遭難対策担当者会議  
7 月 2 日（土）～3 日（日）
- 2、全国自然保護講座  
7 月 9 日（土）～10 日（日） 滋賀県 40 名程度
- 3、中地協代表者会議  
9 月 4 日（日）10:00～15:00  
広島県 三次市 三次きんさいセンター  
➢岡山県連事務局担当 代表者会議後から  
引き受ける。
- 4、全国ハイキング交流集会  
10 月 1 日（土）～2 日（日） 山口県
- 5、中地協ハイキング交流集会  
10 月 22 日（土）～23 日（日） 島根県  
国立三瓶青少年交流の家（島根県大田市）
- 6、全国登山研究集会  
10 月 29 日（土）～30 日（日） 東京都府中市  
➢5 分科会 80 名募集
- 7、全国自然保護担当者会議  
11 月 12 日（土）～13 日（日）

### (7) 次号「労山おかやま」の編集案提案と記事原稿 分担（谷川機関紙委員長）

編集案に沿って協議。

原稿締め切り 6 月 15 日（常に印刷の 1 週間前）  
印刷は 6 月 22 日（水）

### (8) 第 7 回吉備路の山全山縦走大会（盛重理事）

- 6 月 20 日 第 1 回実行委員会開催予定。

## 今後の理事会日程

2022 年 6 月 22 日（水）19 時 00 分より  
ゆうあいセンター（きらめきプラザ内）

2022 年 7 月 27 日（水）19 時 00 分より  
ゆうあいセンター（きらめきプラザ内）

## 県連・各会 '22年7月～年8月 行事・山行予定表

'22年7月 (太字は県連行事)
'22年8月 (太字は県連行事)

曜日	予 定	曜日	予 定
1 金		1 月	
2 土	全国遭難対策担当者会議(～3)宮城県・仙台	2 火	
3 日	笹ヶ峰・寒風山(KHC)	3 水	
4 月		4 木	
5 火		5 金	鳳凰三山(～7)(SCMC)
6 水		6 土	剣山(SCMC)
7 木		7 日	山乗り溪谷(みまさか)、大山ユートピアコース(KHC)
8 金		8 月	
9 土	安全登山講習①「山の装備」生涯学習センター 全国自然保護講座(～10)滋賀県・大津市	9 火	鞍馬山～貴船(KHC)
10 日	駒の尾～後山(みまさか)	10 水	
11 月	入笠山(～12)(KHC)	11 木	剣山(市民ハイク)(NHC)
12 火		12 金	
13 水		13 土	
14 木		14 日	
15 金		15 月	
16 土	大和山(KHC)、出羽三山(～18)(NHC)	16 火	
17 日	黒岩高原(SCMC)	17 水	
18 月		18 木	
19 火		19 金	
20 水		20 土	吾妻山(KHC)、ボランティア in 毛無山(SCMC)
21 木	蝶ヶ岳・常念岳(～24)(SCMC)	21 日	恐羅漢山(THD)、山乗溪谷(SCMC)、二子山(NHC)
22 金		22 月	
23 土		23 火	
24 日	モネの庭マルモッタンと伊尾木洞(SCMC)、毛無山～白馬山(THD)、鯛ノ巣山(NHC)	24 水	<b>県連理事会</b>
25 月		25 木	
26 火		26 金	金峰山・瑞牆山(～28)(SCMC)
27 水	早朝ハイク@福山(KHC)、 <b>県連理事会</b>	27 土	井倉洞(KHC)
28 木		28 日	直島(SCMC)
29 金	南八ヶ岳(阿弥陀岳～赤岳～横岳～硫黄岳)(～31)(SCMC)、南アルプス(～8/1)(KHC)	29 火	
30 土	白山(～8/1)(みまさか)	30 水	
31 日		31 木	

### <編集後記>

5月末で、9年8か月勤めた職場を退職した。60才定年まで勤務した第1の職場、それから1年勤務した第2の職場、そして今回辞めた第3の職場である。人生100年時代と言われているが、パートのおばあちゃんもそろそろ引退という思いがあった。しかし、辞めて半月ほどしかたっていないが、毎日が日曜日になると、決まった日に出かけなくなったからなのか、曜日の感覚が鈍ってくる。

古には、朝寝朝酒・・・という人生を送った方もいたようであるが、「身上を潰した」というのが結果として記録されている。庶民の「何もしないでいる時間」は、せいぜい3年が限度だと「3年寝太郎」さんは言っているし、それも「次の目標」を成功させるための必要な時間だと・・・成功のインタビューで(自慢げに)語っている。

さて、私の「これから」はどうなるのか?・・・その行きつくところを見極めるのも(また)人生だと思うので、焦らずゆっくり行くことにしようか。(一)